

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
学校教育課	学校教育の充実	5551	教育委員会管理費	教育委員会経常管理費	簡易	1
学校教育課	学校教育の充実	5562	事務局管理費	事務局経常管理費	簡易	2
学校教育課	学校教育の充実	5565	事務局管理費	小中学校情報機器整備事業費	簡易	3
学校教育課	障害者(児)福祉の推進	5580	各種団体補助金	手をつなぐ育成会補助金	総合	4-5
学校教育課	学校教育の充実	5610	教職員住宅管理費	教職員住宅経常管理費	簡易	6
学校教育課	学校教育の充実	5615	教職員住宅管理費	教職員住宅臨時管理費	簡易	7
学校教育課	学校教育の充実	5622	小学校共通常理費	小学校共通常理管理費	簡易	8
学校教育課	学校教育の充実	5623	小学校共通常理費	小学校共通常理臨時管理費	簡易	9
学校教育課	学校教育の充実	5630	各小学校管理費	南小学校経常管理費	簡易	10
学校教育課	学校教育の充実	5632	各小学校管理費	大野小学校経常管理費	簡易	11
学校教育課	学校教育の充実	5633	各小学校管理費	鶴喜小学校経常管理費	簡易	12
学校教育課	学校教育の充実	5634	各小学校管理費	鶴喜小学校臨時管理費	簡易	13
学校教育課	学校教育の充実	5635	各小学校管理費	香々美小学校経常管理費	簡易	14
学校教育課	学校教育の充実	5637	各小学校管理費	香々美小学校臨時管理費	簡易	15
学校教育課	学校教育の充実	5638	各小学校管理費	奥津小学校経常管理費	簡易	16
学校教育課	学校教育の充実	5639	各小学校管理費	上齋原小学校経常管理費	簡易	17
学校教育課	学校教育の充実	5641	各小学校管理費	富小学校経常管理費	簡易	18
学校教育課	学校教育の充実	5645	スクールバス管理費	スクールバス経常管理費	簡易	19
学校教育課	学校教育の充実	5655	鶴喜小学校里山整備事業費	鶴喜小学校里山整備事業費	簡易	20
学校教育課	学校教育の充実	5671	小学校共通常理費	小学校支援教員配置事業	総合	21-22
学校教育課	学校教育の充実	5672	各小学校教育振興管理費	南小学校教育振興経常管理費	簡易	23
学校教育課	学校教育の充実	5674	各小学校教育振興管理費	大野小学校教育振興経常管理費	簡易	24
学校教育課	学校教育の充実	5676	各小学校教育振興管理費	鶴喜小学校教育振興経常管理費	簡易	25
学校教育課	学校教育の充実	5678	各小学校教育振興管理費	香々美小学校教育振興経常管理費	簡易	26
学校教育課	学校教育の充実	5682	各小学校教育振興管理費	奥津小学校教育振興経常管理費	簡易	27
学校教育課	学校教育の充実	5690	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(給食費)	簡易	28
学校教育課	学校教育の充実	5691	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(学用品費)	簡易	29
学校教育課	学校教育の充実	5700	鏡野町教育研修事業費	鏡野町教育研修事業費	総合	30-31
学校教育課	学校教育の充実	5772	中学校共通常理費	中学校共通常理管理費	簡易	32
学校教育課	学校教育の充実	5780	各中学校管理費	鏡野中学校経常管理費	簡易	33
学校教育課	学校教育の充実	5781	各中学校管理費	鏡野中学校臨時管理費	簡易	34
学校教育課	学校教育の充実	5790	スクールバス管理費	スクールバス経常管理費	簡易	35
学校教育課	学校教育の充実	5791	スクールバス管理費	スクールバス臨時管理費	簡易	36
学校教育課	学校教育の充実	5821	中学校共通常理費	中学校支援教員配置事業	総合	37-38
学校教育課	学校教育の充実	5825	中学校教育振興管理費	鏡野中学校教育振興経常管理費	簡易	39
学校教育課	学校教育の充実	5830	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(給食費)	簡易	40
学校教育課	学校教育の充実	5831	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(学用品費)	簡易	41
学校教育課	学校教育の充実	5835	外国青年招致事業費	外国青年招致事業費	簡易	42
学校教育課	学校教育の充実	6655	鏡野学校給食共同調理場管理費	鏡野学校給食共同調理場経常管理費	簡易	43
学校教育課	学校教育の充実	6656	鏡野学校給食共同調理場管理費	鏡野学校給食共同調理場臨時管理費	簡易	44

事業番号	事務事業名	教育委員会経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05551	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	黒瀬 豊
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・毎月の定例会と随時の臨時会を開催し、招集通知、資料作成、会場設置、会議出席、説明・報告(審議・承認・決定)、議事録作成、などを行う。 ・県などで開催される教育委員研修会に同行する。	各町村で実施していた事業を町村合併後引き継いで実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 児童生徒	ア 児童生徒数	人	見込 実績	972 974	959 966	943 941	943	943
イ	イ	人	見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 心豊かな教育を推進する	ア 発達段階に応じた教育を受けた児童生徒数	人	目標 実績 達成率	972 974 100.2%	959 966 100.7%	943 941 99.8%	943	943
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 教育委員会の開催	ア 教育委員会開催数	回	目標 実績 達成率	12 14 116.7%	12 13 108.3%	12 14 116.7%	12	12
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 01		目 01		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		教育総務費		教育委員会費		教育委員会経常管理費						
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	104	103	107	102	102	4	一般財源	35	28	51	102	102	23		
合計	104	103	107	102	102	4	合計(A)	35	28	51	102	102	23		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10				
	人件費計(千円)(B)						34	34	33	33	33	-0			
	最終予算額		107 千円		予算執行率		47.6%		トータルコスト(A+B)		69	62	84	135	135

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	教育委員会の経費であり、適正に支出等が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	事務局経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05562	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第62号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	教育委員会事務局、教育委員会の条例、規則の改廃、町内小中学校・中学校の運営管理に関する事務	平成17年3月合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小中学校	ア 小中学校数(実働)	校	見込 実績	8 8	8 8	6 6	6 6	6 6
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な管理運営を行う	ア 適切な管理運営が行われた小中学校数	校	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 校長会の開催により学校現場と連携した学校運営の実現	ア 校長会開催数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		教育総務費		事務局費		事務局経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金					#VALUE!	国庫支出金		7,871				-7,871		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	21,331	19,159	20,023	14,967	14,967	864	一般財源	20,016	9,807	18,652	14,967	14,967	8,845	
合計	21,331	19,159	20,023	14,967	14,967	864	合計(A)	20,016	17,678	18,652	14,967	14,967	974	
財源名称	従事正職員人数						7	4	4	4	4			
	延べ業務事務時間						12,600	12,600	12,600	12,600	12,600			
	人件費計(千円)(B)						43,105	42,361	42,021	42,021	42,021	-340		
	最終予算額		20,023 千円	予算執行率		93.1%	トータルコスト(A+B)		63,121	60,039	60,673	56,988	56,988	634

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町内小中学校運営管理に関する経費であり、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小中学校情報機器整備事業費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05565	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	学校情報機器の管理・運用に関すること GIGAスクールの推進に関すること	令和2年度より、GIGAスクールが推進されており、ハード的な整備が必要になることに加え、以前から導入している校務用PCなどの管理

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 教職員	ア 教職員数	人	見込 実績	180 180	180 180	169 168	169	169
イ 児童生徒	イ 児童生徒数	人	見込 実績	972 974	974 966	947 941	947	947

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 学級数分必要な機材がある	ア 担任の校務用PC所持率	%	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100	100
イ 安全にインターネットを使用できる	イ タブレット用フィルターの導入率	%	目標 実績 達成率		100 100 100.0%	100 100 100.0%	100	100

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 校務用PCの修理	ア 修理した校務用PCの数	台	目標 実績 達成率	10 12 120.0%	10 9 90.0%	10 4 40.0%	5	5
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		教育総務費		事務局費		小中学校情報機器整備事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金		2,108				-2,108		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	2,149	6,504	8,012	6,914	6,914	1,508	一般財源	2,148	4,349	7,535	6,914	6,914	3,186	
合計	2,149	6,504	8,012	6,914	6,914	1,508	合計(A)	2,148	6,457	7,535	6,914	6,914	1,078	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1	30	30	30	30			
	人件費計(千円)(B)						3	101	100	100	100	-1		
	最終予算額	8,012 千円	予算執行率	94.0%		トータルコスト(A+B)	2,151	6,558	7,635	7,014	7,014	1,077		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	校務のDX化による校務、教務に関わる教員への校務用PCの買与、GIGAスクール構想による1人1台端末の整備により管理するPC、タブレット、その他通信機器の量が多く、予算額も多額になる傾向があるが、文部科学省から新たなネットワーク構想として「ゼロトラスト」が示されており、少なくとも校務用PCと教員用タブレットの統一化を図って、PC端末や通信機器、校務及び教務システムの合理化を図る必要があると考えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	手をつなぐ育成会補助金	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05580	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	15 障害者(児)福祉の推進	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則 鏡野町手をつなぐ育成会会則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・(社)岡山県手をつなぐ育成会に入会し、会の運営及び会員(100名)の研究活動費、特別支援学級(14学級)を助成する。 ・障がいを持つ者の育成と特別支援教育の啓発を行う。	鏡野町の障害をもつ者の自立支援と特別支援教育についての啓発や発展に努めることを目的とする。 平成17年12月9日より実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 特別支援学級	ア 特別支援学級数	学級	見込	11	15	15	16	16
			実績	13	15	14		
イ	イ 特別支援学級の児童、生徒数	人	見込	56	78	77	82	82
			実績	62	80	75		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 障害のある児童、生徒に自立してもらう	ア 自立している障害のある児童・生徒数	人	目標	55	78	77	82	82
			実績	62	80	75		
			達成率	112.7%	102.6%	97.4%		91.5%
イ 特別支援教育について啓発する	イ 啓発している学校数	人	目標	6	8	6	6	6
			実績	6	8	6		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 総代会、研修会等の開催により啓発を行う	ア 開催回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	0	0	1		
			達成率	0.0%	0.0%	33.3%		33.3%
イ 特別支援学級へ補助金を支払い活用してもらう	イ 補助金支払い回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 身体等に障害をもった町民	ア 精神的、身体的、経済的に自立してもらう
イ	イ 積極的に社会参加をしてもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 01		目 02		大事業 03	中事業 01	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		教育総務費		事務局費				手をつなぐ育成会補助金					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	400	400	400	400	400		一般財源	400	400	400	400	400				
合計	400	400	400	400	400		合計(A)	400	400	400	400	400	0			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20				
							人件費計(千円)(B)	68	67	67	67	67	-1			
	最終予算額	400 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		468	467	467	467	467	467	-1			

1枚目

事業番号	05580	事務事業名	手をつなぐ育成会補助金	所管課名	学校教育課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特別支援学級の生徒児童数は増加傾向である。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
鏡野町教育委員会の方針として、できるだけ特別支援教育に力を注いでいく。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
学校からは特別支援学級への補助金はとてもありがたいとの意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 特別な支援を要する児童生徒の自立支援と特別支援教育についての啓発は、障害者(児)福祉の推進の政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 特別支援教育に関することを町が行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 特別支援教育に関することを町が行うことは妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 成果は目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 方法・手段は適正である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 学校教育課が担当しているため障がい児には恩恵があるが、ほかの市町のように障がい者に恩恵はない。政策体系からも福祉部門が事務をもつことで、より幅広い成果はあるかも知れない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業費は必要最小限であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 人件費は必要最小限であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 受益者は障害者(児)であるが、高校生以上の障がい者には恩恵がない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	補助金は特別支援学級の児童・生徒の自立支援になっている。町の知的障害者相談員の方に、「手をつなぐ育成会」の事務局ということで福祉部局からの紹介で岡山県大会の送迎を頼まれたが、そこでも違和感を感じてしまった。																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>「手をつなぐ育成会」の母体が大きいため、学校教育の部分でしか携わることができない。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								
政策体系から考察すると、障害者(児)福祉の推進にあたるため、福祉部門が事務事業を管轄しても良いと思われる。現に合併前の旧町村においては福祉部局が管轄していた。特別支援学級があるとはいえ、民生委員や区長幹事等に参集いただき学校教育課が「手をつなぐ育成会」の理事会や総代会を開催することに違和感を感じる。																								

事業番号	事務事業名	教職員住宅経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05610	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町教職員宿舍条例(平成17年鏡野町条例第109号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和6年度に取り壊す奥津教職員住宅周辺の土地について、近隣住民の方々へ迷惑がかからないよう草刈りをする委託料。	平成17年3月の町村合併より(合併前の奥津町、上齋原村、富村での事業を引き継いだ)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 周辺住民	ア 周辺住民世帯数	世帯	見込 実績	0 0	0 0	1 0	1	1
イ 教職員以外の入居者	イ 教職員以外の入居世帯数	世帯	見込 実績	2 2	0 0	0 0		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安心して生活してもらう	ア 苦情の連絡	人	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	0
イ 教職員が使用していない宿舍を一般に利用してもらう	イ 一般の利用世帯数	世帯	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	0 0 -	0 0 -	0	0
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 家賃の請求	ア 家賃請求回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	0 0 -	0 0 -	0	0
イ 草刈り委託	イ 草刈り委託回数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	1	1

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 01 教育総務費		目 03 教職員住宅費		予算上の事業名 教職員住宅経常管理費					事業番号 05610
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	185	120				-120	その他特財	65						
一般財源			120			120	一般財源		100	114			14	
合計	185	120	120				合計(A)	65	100	114			14	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1				
							延べ業務事務時間	10	10	10				
							人件費計(千円)(B)	34	34	33			-0	
	最終予算額		120 千円		予算執行率		95.0%		トータルコスト(A+B)		99	134	147	14

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	奥津教職員住宅周辺の草刈り委託料に関する経費で、必要最低限の支出である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	教職員住宅臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05615	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	老朽化していた奥津教員住宅解体工事の設計委託料	

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津教員住宅	ア 奥津教員住宅	棟	見込 実績			3 3		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安全に解体工事をしてもらう	ア アスベスト含有建材分析回数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算や工事に関する協議	ア 予算や工事に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率			6 6 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	01	目	03	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		教育総務費		教職員住宅費	01	02	教職員住宅臨時管理費				
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			2,141			2,141	一般財源			1,881			1,881	
合計			2,141			2,141	合計(A)			1,881			1,881	
財源名称							従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			20			20	
							人件費計(千円)(B)			67			67	
	最終予算額	2,141 千円		予算執行率	87.8%		トータルコスト(A+B)			1,948			1,948	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和6年度に取り壊す奥津教員住宅の解体設計料に関する経費で、必要最低限の支出である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小学校共通経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05622	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	小学校校務員の賃金等の支払い、児童生徒の健康診断等の実施、化学物質検査、消火設備の点検・修理、教職員の健康診断、各種負担金の支払い等	平成17年3月合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小学校児童	ア 小学校数	校	見込 実績	7 7	7 7	5 5	5 5	5 5
イ	イ 小学校児童数	人	見込 実績	657 657	634 621	615 624	617 617	617 617
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安心・安全な教育環境を確保する	ア 安心・安全な教育環境を確保できた学校数	校	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 7 100.0%	5 5 100.0%	5 5 100.0%	5 5 100.0%
イ	イ 安心・安全な教育環境で過ごせた児童数	人	目標 実績 達成率	657 657 100.0%	634 621 97.9%	624 620 99.4%	617 617	617 617 100.5%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 校務員等の賃金・各種点検・検査・修繕等の支払い	ア 支払いを行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12	12 12 100.0%
イ 児童の健康診断	イ 健康診断受診者数	人	目標 実績 達成率	657 657 100.0%	622 621 99.8%	615 622 101.1%	617 617	617 617 100.8%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		小学校共通経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金		2,329				-2,329		
県支出金	807	757	279	482	482	-478	県支出金	815	112	122	482	482	10	
町債							町債							
その他特財		50	50	50	50		その他特財		20	20	50	50		
一般財源	35,259	26,313	22,521	23,911	23,911	-3,792	一般財源	33,664	23,927	20,913	23,911	23,911	-3,014	
合計	36,066	27,120	22,850	24,443	24,443	-4,270	合計(A)	34,479	26,388	21,055	24,443	24,443	-5,333	
財源名称	放課後学習サポート事業費委託金、小学校施設使用料						従事正職員人数	4	4	4	4	4		
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200		
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5	
	最終予算額	22,850 千円	予算執行率	92.1%	トータルコスト(A+B)		35,163	27,060	21,722	25,110	25,110	-5,338		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に関する経費で適切な予算執行である
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小学校共通臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05623	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	小学校の不測かつ危険で緊急を要する修繕料や委託料。南小学校落雷によるプール設備修理工事。南小学校食堂天井裏消毒清掃及び防鼠工事。大野小学校雨樋修繕工事。香々美小学校プールサイド修繕工事。香々美小学校外廊下及び渡り廊下改修工事。香々美小学校トイレフラッシュ修繕工事。	新年度になって学校から連絡があり、判明した著しく学校運営を疎外する施設の修繕等。南小の落雷によるプール設備修理工事は公有建物災害共済金を請求。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町内小学校	→	ア	校	見込 実績			5 5		
イ		→	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	安心・安全な教育環境を確保する	→	ア	人	目標 実績 達成率			5 5 100.0%		
イ		→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	施設点検	→	ア	月	目標 実績 達成率			12 12 100.0%		
イ		→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 10 教育費		02 項 10 小学校費		01 目 01 学校管理費		01 04 予算上の事業名 小学校共通臨時管理費					05623 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金		4,830				-4,830	
県支出金		30				-30	県支出金		1,102				-1,102	
町債							町債							
その他特財		3,150				-3,150	その他特財							
一般財源		13,753	16,089			2,336	一般財源		6,658	16,087			9,429	
合計		16,933	16,089			-844	合計(A)		12,590	16,087			3,497	
財源名称							従事正職員人数		1	1				
							延べ業務事務時間		200	100			-100	
							人件費計(千円)(B)		672	334			-339	
	最終予算額	16,089 千円	予算執行率	99.9%	トータルコスト(A+B)				13,262	16,421			3,158	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校の施設修繕等に関する経費であり、必要最低限の支出である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	南小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05630	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	南小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 南小学校児童	ア 南小学校児童数	人	見込 実績	267 264	245 244	240 240	234	234
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標 実績 達成率	267 264 98.9%	245 244 99.6%	240 240 100.0%	234	234 102.6%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		南小学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	12,134	14,017	12,745	11,774	11,774	-1,272	一般財源	10,997	13,407	12,296	11,774	11,774	-1,111	
合計	12,134	14,017	12,745	11,774	11,774	-1,272	合計(A)	10,997	13,407	12,296	11,774	11,774	-1,111	
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額	12,745 千円		予算執行率	96.4%		トータルコスト(A+B)	11,681	14,079	12,963	12,441	12,441	-1,116	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大野小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05632	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	大野小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 大野小学校児童	ア 大野小学校児童数	人	見込	175	180	187	192	192
			実績	172	181	185		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	175	180	185	192	192
			実績	172	181	184		
			達成率	98.3%	100.6%	99.5%		95.8%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		大野小学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	7,489	9,238	9,367	9,296	9,296	129	一般財源	6,441	8,881	9,061	9,296	9,296	180	
合計	7,489	9,238	9,367	9,296	9,296	129	合計(A)	6,441	8,881	9,061	9,296	9,296	180	
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額	9,367 千円		予算執行率	96.7%		トータルコスト(A+B)	7,125	9,553	9,728	9,963	9,963	175	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鶴喜小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05633	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鶴喜小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鶴喜小学校児童	ア 鶴喜小学校児童数	人	見込	95	89	89	100	100
			実績	98	89	94		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	95	89	94	100	100
			実績	98	89	91		
			達成率	103.2%	100.0%	96.8%		91.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		鶴喜小学校経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	6,028	9,270	9,182	8,249	8,249	-88	一般財源	5,826	8,890	8,639	8,249	8,249	-251	
合計	6,028	9,270	9,182	8,249	8,249	-88	合計(A)	5,826	8,890	8,639	8,249	8,249	-251	
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額		9,182 千円	予算執行率		94.0%	トータルコスト(A+B)		6,510	9,562	9,306	8,916	8,916	-256

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鶴喜小学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05634	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和5年度実施の鶴喜小学校大規模改修工事に伴う、実施設計委託料 (令和3年度から令和4年度へ全額を繰り越したもの)	令和5年度の鶴喜小学校大規模改修工事に伴う、実施設計委託料

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鶴喜小学校児童	ア 鶴喜小学校児童	人	見込	95	89	89	89	
			実績	98	89	94		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	95	89	89	89	
			実績	98	89	94		
			達成率	103.2%	100.0%	105.6%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	ア		目標					
			実績					
			達成率					
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		鶴喜小学校臨時管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金		200,000			200,000	国庫支出金			200,000			200,000		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	22,000	349,174			327,174	一般財源		22,000	271,484			249,484		
合計	22,000	549,174			527,174	合計(A)		22,000	471,484			449,484		
財源名称	電源立地地域対策交付金					従事正職員人数			1	1				
						延べ業務事務時間			8	100		92		
						人件費計(千円)(B)			27	334		307		
	最終予算額		549,174 千円	予算執行率		85.8%	トータルコスト(A+B)			22,027	471,818		449,791	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鶴喜小学校の大規模改修工事に係る事業費については、大規模改修工事の施工に併せて仮設校舎の建設から撤去を行い、令和4年度から令和6年度まで3力年で実施した。仮設校舎賃貸借業務を始め、大規模改修工事も問題なく完了した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香々美小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05635	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	香々美小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香々美小学校児童	→	ア 香々美小学校児童数	人	見込	43	40	53	46	46
イ	→	イ		実績	43	40	53		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	→	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	43	40	53	46	46
イ	→	イ		実績	43	40	53		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	→	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
イ 支出決議書等の点検	→	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	実績	12	12	12		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		香々美小学校経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	5,511	8,488	7,298	6,655	6,655	-1,190	一般財源	5,279	8,175	7,066	6,655	6,655	-1,109	
合計	5,511	8,488	7,298	6,655	6,655	-1,190	合計(A)	5,279	8,175	7,066	6,655	6,655	-1,109	
財源名称	従事正職員人数		3	3	3									
	延べ業務事務時間		200	200	200									
	人件費計(千円)(B)		684	672	667							-5		
	最終予算額	7,298 千円	予算執行率	96.8%	トータルコスト(A+B)		5,963	8,847	7,733	6,655	6,655	-1,114		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に関する経費で、必要最低限の支出である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香北小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05637	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	香北小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香北小学校児童	ア 香北小学校児童数	人	見込 実績	14 14	15 15	0 0	0	0
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標 実績 達成率	14 14 100.0%	15 15 100.0%	0 0 -	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	0 0 -	0	0
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		香北小学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	3,795	3,374	1,890	1,335	1,335	-1,484	一般財源	3,466	2,870	1,733	1,335	1,335	-1,137	
合計	3,795	3,374	1,890	1,335	1,335	-1,484	合計(A)	3,466	2,870	1,733	1,335	1,335	-1,137	
財源名称	従事正職員人数						3	3	1	1	1	-2		
	延べ業務事務時間						200	200	30	30	30	-170		
	人件費計(千円)(B)						684	672	100	100	100	-572		
	最終予算額	1,890 千円		予算執行率	91.6%		トータルコスト(A+B)	4,150	3,542	1,833	1,435	1,435	-1,709	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香北小学校は、令和4年度末に閉校し、廃校施設の跡地利用が決まるまで現況を維持しつつ、最低限の費用で管理を行っているが、電気代など安価に管理するための方法については改善の余地がある。なお、上水道については、地域が使用する体育館のみに供給を行っており、校舎は、現在利用が無いことと冬期の水道管破裂を考慮して水道を止水している。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05638	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	奥津小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津小学校児童	ア 奥津小学校児童数	人	見込	52	44	50	45	45
			実績	52	41	50		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	52	44	50	45	45
			実績	52	41	50		
			達成率	100.0%	93.2%	100.0%		111.1%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		奥津小学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	5,938	7,204	7,288	6,536	6,436	84	一般財源	5,920	6,849	6,786	6,536	6,536	-63	
合計	5,938	7,204	7,288	6,536	6,436	84	合計(A)	5,920	6,849	6,786	6,536	6,536	-63	
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3		
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200		
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5	
	最終予算額		7,288 千円	予算執行率		93.1%	トータルコスト(A+B)	6,604	7,521	7,453	7,203	7,203	-68	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05639	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等 令和2年度からは、休校のため、施設管理も行う。	平成17年合併と同時に開始 令和2年度から休校

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原小学校	ア 上齋原小学校施設数	施設	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の維持管理をする	ア 維持管理できた施設数	施設	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設管理をする	ア 施設管理をした月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率		12			

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		上齋原小学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,911	2,021	1,860	1,871	1,871	-161	一般財源	1,680	1,839	1,732	1,871	1,871	-107	
合計	1,911	2,021	1,860	1,871	1,871	-161	合計(A)	1,680	1,839	1,732	1,871	1,871	-107	
財源名称	従事正職員人数						3	3	1	1	1	-2		
	延べ業務事務時間						200	200	30	30	30	-170		
	人件費計(千円)(B)						684	672	100	100	100	-572		
	最終予算額	1,860 千円		予算執行率	93.1%		トータルコスト(A+B)	2,364	2,511	1,832	1,971	1,971	-679	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	上齋原総合教育施設は、令和4年度末に閉校し、廃校施設の跡地利用が決まるまで現況を維持しつつ、最低限の費用で管理を行っているが、電気代など安価に管理するための方法については改善の余地がある。なお、上水道については、地域が使用する体育館、親子ふれあい交流館にのみ供給を行っており、校舎は、現在利用が無いことと冬期の水道管破裂を考慮して水道を止水している。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05641	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	富小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富小学校児童	ア 富小学校児童数	人	見込 実績	15 14	11 11	0 0	0	0
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標 実績 達成率	15 14 93.3%	11 11 100.0%	0 0 -	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	0 0 -	0	0
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		富小学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	5,846	6,231	2,932	2,808	2,808	-3,299	一般財源	5,812	5,672	2,907	2,808	2,808	-2,765	
合計	5,846	6,231	2,932	2,808	2,808	-3,299	合計(A)	5,812	5,672	2,907	2,808	2,808	-2,765	
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額		2,932 千円	予算執行率		99.1%	トータルコスト(A+B)		6,496	6,344	3,574	3,475	3,475	-2,770

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	富小学校は、令和4年度末に閉校し、廃校施設の跡地利用が決まるまで現況を維持しつつ、最低限の費用で管理を行っており、令和6年度以降は跡地利用の方向性が決まっているため、適切に管理ができています。なお、上水道については、地域が使用する体育館のみに供給を行っており、校舎は、現在利用が無いことと冬期の水道管破裂を考慮して水道を止水している。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	スクールバス経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05645	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町通学用自動車条例(条例第117号)鏡野町通学用自動		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	遠距離通学児童が安全に登下校ができるよう、小学校スクールバス(奥津小4台、鶴喜小・香々美小・南小各1台)の運行及び維持管理に関する業務。 ・毎月の委託料の運行业者への支払い、リース会社への支払い、点検・車検・ガソリン代等諸経費の支払い、年間委託契約事務、車検等の連絡及び配車調整。事故時保険対応・新年度(新入生)配車調整・スクールバス入替作業。学校行事に伴う路線外使用許可事務。	南小学校スクールバスは芳野小学校と郷小学校が統合した年度より開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア スクールバス利用の小学児童	ア 利用児童数(実人員)	人	見込 実績	98 79	76 92	75 75	75	75
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安全な登下校をしてもらう	ア 不具合等で登下校に支障があった件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 3 -	0	0
イ	イ 利用児童数(実人員)	人	目標 実績 達成率	98 79 80.6%	76 92 121.1%	75 75 100.0%	75	75 100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 維持管理事務	ア 運行回数(回/年)	回	目標 実績 達成率	200 200 100.0%	200 200 100.0%	200 200 100.0%	200	200 100.0%
イ 路線外使用許可事務	イ 路線外使用許可回数	回	目標 実績 達成率	30 30 100.0%	30 30 100.0%	30 30 100.0%	30	30 -

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		スクールバス経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	38,228	31,149	35,255	35,099	35,099	4,106	一般財源	33,993	30,916	34,950	35,099	35,099	4,034	
合計	38,228	31,149	35,255	35,099	35,099	4,106	合計(A)	33,993	30,916	34,950	35,099	35,099	4,034	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額	35,255 千円		予算執行率	99.1%		トータルコスト(A+B)	34,677	31,588	35,617	35,766	35,766	4,029	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校のスクールバス車両に関する経費であり、必要最低限の支出である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鶴喜小学校里山整備事業費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05655	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町立鶴喜小学校 ・里山を活用した学習のため、田2, 260㎡、山林13, 450㎡を維持管理する ・草刈り等環境整備のための業務委託事務、遊歩道及び広場の維持管理、諸経費の支払事務等	平成20年度開始 ・里山の中で動植物とのふれあいを通じて自然の大切さ、すばらしさを体験する

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鶴喜小学校児童	ア 児童数	人	見込 実績	95 95	89 89	94 94	94	94
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 里山の中で動植物とのふれあいを通じて自然の大切さ、すばらしさを体験する	ア 里山の中で動植物とのふれあいを通じて自然の大切さ、すばらしさを体験できた児童数	人	目標 実績 達成率	95 95 100.0%	89 89 100.0%	94 94 100.0%	94	94
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託料支払(委託団体)	ア 委託料支払回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 10 教育費		02 項 10 小学校費		01 目 05 学校管理費		05 01 中事業 鶴喜小学校里山整備事業費					事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	500	499	499	499	499		一般財源	477	499	499	499	499		
合計	500	499	499	499	499		合計(A)	477	499	499	499	499	0	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	2	2	2	2	2		
							人件費計(千円)(B)	7	7	7	7	7	-0	
	最終予算額		499 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	484	506	506	506	506	-0

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鶴喜小学校の里山の整備に関する経費であり、学校の特色を生かした適切な執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05671	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	雇用契約書の作成、実績確認、賃金計算及び支払い、社会保険等手続き	合併時(学校開設時)から開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小学校児童	ア 小学校児童数	人	見込	661	634	615	611	611
			実績	661	622	620		
イ 支援を必要とする児童	イ 支援を必要とする児童数	人	見込	42	55	51	51	51
			実績	42	55	51		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支援の必要な児童生徒にきめ細かな指導を行う	ア きめ細かな指導を受けることができた要支援児童数	人	目標	42	55	51	51	51
			実績	42	55	51		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 充実した授業を受けることができる	イ 充実した授業を受けることができた児童数	人	目標	661	622	615	611	611
			実績	661	622	620		
			達成率	100.0%	100.0%	100.8%		101.5%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 報酬の支払い	ア 報酬支払い回数	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ			目標					
			実績					
			達成率					
ウ			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		大事業		中事業		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		01	02	小学校支援教員配置事業					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金	40,000	44,000	18,500			-25,500	国庫支出金	40,000	43,965	18,000			-25,965			
県支出金	1,213	1,407	1,213			-194	県支出金	1,362	998	448			-550			
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	46,151	43,235	72,560	99,896	99,896	29,325	一般財源	45,997	43,602	71,435	99,896	99,896	27,833			
合計	87,364	88,642	92,273	99,896	99,896	3,631	合計(A)	87,359	88,565	89,883	99,896	99,896	1,318			
財源名称	電源立地地域対策交付金					従事正職員人数		1	1	1	1	1				
	小1グッドスタート支援事業(県)					延べ業務事務時間		60	100	120	120	120	20			
	教師業務アシスタント事業(県)					人件費計(千円)(B)		205	336	400	400	400	64			
	最終予算額		92,273 千円		予算執行率	97.4%		トータルコスト(A+B)		87,564	88,901	90,283	100,296	100,296	1,382	

1枚目

事業番号	05671	事務事業名	小学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
障害に応じた指導、日本語能力に課題のある児童生徒への指導、初任者研修や少人数指導のための基礎定数について改正や新設がなされた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
国や県が定める定数に加えて町費で教員を配置することで、きめ細やかな指導ができるようになってきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
一人一人の児童生徒に応じた指導を行ってほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 この事業は「確かな学力と豊かな人間性を育む」ものであり、政策体系に、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 鏡野町の児童が充実した教育を受けられるようにすることは、学校設置者である町が行うべき事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象は町立小学校の児童生徒であり、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 教員一人一人の資質を向上させることでさらなる成果を上げることが可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 支援を必要とする児童生徒や、各学校が抱える課題を解消するために必要な事業である、廃止・休止することはできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 各学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、成果をより向上させることができる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 教員の資質向上、事務の効率化、ICTの効果的な導入などにより、コストの削減は可能だが、削減しすぎることにより、成果を上げられず、適切な教育を受けることができない児童生徒が生じる懸念がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業を実施する職員の勤務時間等は適切であり、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 受益者は、町立小中学校に通う児童・生徒全員であり、受益者負担は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	教員一人一人の資質を向上させることでさらなる成果を上げることが可能である。 各学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、成果をより向上させることができる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 学校が示す支援員配置計画の妥当性を検証する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
支援が必要な児童生徒に適切な支援が行えるよう配慮する必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	南小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05672	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	南小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 南小学校児童	ア 南小学校児童数	人	見込	267	245	240	234	234
			実績	264	244	240		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	267	267	240	234	234
			実績	264	244	240		
			達成率	98.9%	91.4%	100.0%		102.6%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		南小学校教育振興経常管理費					
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	2,160	2,648	2,109	1,880	1,880	-539	一般財源	1,953	2,582	2,012	1,880	1,880	-570	
合計	2,160	2,648	2,109	1,880	1,880	-539	合計(A)	1,953	2,582	2,012	1,880	1,880	-570	
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3		
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200		
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5	
	最終予算額		2,109 千円	予算執行率		95.4%	トータルコスト(A+B)	2,637	3,254	2,679	2,547	2,547	-575	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校の教育振興に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大野小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05674	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	大野小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 大野小学校児童	→	ア 大野小学校児童数	人	見込	175	180	187	192	192
イ	→	イ		実績	172	181	185		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	175	180	185	185	185
イ	→	イ		実績	172	181	184		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	→	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
イ 支出決議書等の点検	→	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	実績	12	12	12		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		大事業 02		中事業 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		02		03		大野小学校教育振興経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財							その他特財											
一般財源	1,657	1,853	1,721	1,580	1,580	-132	一般財源	1,439	1,794	1,687	1,580	1,580	-107					
合計	1,657	1,853	1,721	1,580	1,580	-132	合計(A)	1,439	1,794	1,687	1,580	1,580	-107					
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3						
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200						
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5					
	最終予算額	1,721 千円		予算執行率	98.0%		トータルコスト(A+B)	2,123	2,466	2,354	2,247	2,247	-112					

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校の教育振興に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鶴喜小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05676	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鶴喜小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鶴喜小学校児童	→	ア 鶴喜小学校児童数	人	見込	95	89	89	100	100
イ	→	イ		実績	98	89	94		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	95	89	94	100	100
イ	→	イ		実績	98	89	94		
				達成率	103.2%	100.0%	100.0%		94.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	→	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
イ 支出決議書等の点検	→	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	実績	12	12	12		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		鶴喜小学校教育振興経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,186	1,022	1,148	1,140	126	一般財源	1,006	902	1,111	1,140	1,140	209		
合計	1,186	1,022	1,148	1,140	126	合計(A)	1,006	902	1,111	1,140	1,140	209		
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額	1,148 千円		予算執行率	96.7%		トータルコスト(A+B)	1,690	1,574	1,778	1,807	1,807	204	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校の教育振興に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香々美小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05678	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	香々美小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香々美小学校児童	→	ア 香々美小学校児童数	人	見込 実績	43 43	40 40	53 53	46	46
イ	→	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標 実績 達成率	43 43 100.0%	40 40 100.0%	53 53 100.0%	46	46 115.2%
イ	→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	→	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%
イ 支出決議書等の点検	→	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		大事業 02		中事業 07		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費						香々美小学校教育振興経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比						
国庫支出金						国庫支出金												
県支出金						県支出金												
町 債						町 債												
その他特財						その他特財												
一般財源	823	1,076	1,101	993	993	25	一般財源	773	1,025	1,032	993	993	7					
合計	823	1,076	1,101	993	993	25	合計(A)	773	1,025	1,032	993	993	7					
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3						
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200						
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5					
	最終予算額	1,101 千円		予算執行率	93.7%		トータルコスト(A+B)	1,457	1,697	1,699	1,660	1,660	2					

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校の教育振興に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05682	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	奥津小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津小学校児童	→	ア 奥津小学校児童数	人	見込	52	44	50	45	45
イ	→	イ		実績	52	41	50		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	52	44	50	45	45
イ	→	イ		実績	52	41	50		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	→	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
イ 支出決議書等の点検	→	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	実績	12	12	12		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		奥津小学校教育振興経常管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	1,140	846	1,164	1,012	1,012	318	一般財源	943	795	1,114	1,012	1,012	319	
合計	1,140	846	1,164	1,012	1,012	318	合計(A)	943	795	1,114	1,012	1,012	319	
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667		-5	
	最終予算額	1,164 千円		予算執行率	95.7%		トータルコスト(A+B)	1,627	1,467	1,781	1,679	1,679	314	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校の教育振興に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	主要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(給食費)	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05690	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠雄策
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・小学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業 ・認定、執行決裁事務	学校教育法19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内小学校保護者	ア 要及び準要保護者数(申請者数)	人	見込 実績	66 80	66 76	67 78	78	78
イ 町内小学校保護者	イ 特別支援学級保護者数(対象者数)	人	見込 実績	27 42	55 55	45 51	51	51
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 給食費を援助し、教育費の負担を軽減する	ア 教育費が軽減された保護者(認定者数)	人	目標 実績 達成率	78 85 109.0%	78 100 128.2%	88 97 110.2%	97	97 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、審査、認定事務	ア 受付、審査、認定回数	回	目標 実績 達成率	7 10 142.9%	7 16 228.6%	15 18 120.0%	15	15 120.0%
イ 扶助費の執行事務	イ 扶助費の執行回数	回	目標 実績 達成率	37 23 62.2%	30 23 76.7%	20 17 85.0%	20	20 85.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		03 01 準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(給食費)					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金	140	140	1,121	738	738	981	国庫支出金	323	502	453	738	738	-49	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	3,850	3,477	5,307	3,450	3,450	1,830	一般財源	3,603	3,587	4,322	3,450	3,450	735	
合計	3,990	3,617	6,428	4,188	4,188	2,811	合計(A)	3,926	4,089	4,775	4,188	4,188	686	
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	40	40	40	40	40		
							人件費計(千円)(B)	137	134	133	133	133	-1	
	最終予算額		6,428 千円		予算執行率	74.2%		トータルコスト(A+B)	4,063	4,223	4,908	4,321	4,321	685

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(学用品費)	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05691	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠雄策
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・小学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業 ・同基準により、新入学予定者の保護者に、入学に係る学用品費を援助する事業 ・認定、執行決裁業務	学校教育法第19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内小学校要・準要保護該当保護者	ア 要及び準要保護者数(申請者数)		見込	66	66	67	88	88
			実績	85	86	88		
イ 町内小学校特別支援学級利用児童保護者	イ 特別支援学級利用児童保護者数(対象者数)	人	見込	27	55	45	45	45
			実績	42	55	51		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 学用品費を援助し、教育費の負担を軽減する	ア 教育費が軽減された保護者数(認定者数)	人	目標	78	78	88	105	105
			実績	90	110	105		
			達成率	115.4%	141.0%	119.3%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、審査、認定事務	ア 受付、審査、認定回数	回	目標	7	7	15	15	15
			実績	10	16	18		
			達成率	142.9%	228.6%	120.0%		120.0%
イ 扶助費の執行事務	イ 扶助費の執行回数	回	目標	37	30	20	20	20
			実績	24	24	18		
			達成率	64.9%	80.0%	90.0%		90.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(学用品費)					
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	2,690	2,215	2,060	2,814	2,814	-155	一般財源	1,723	2,215	2,011	2,814	2,814	-204	
合計	2,690	2,215	2,060	2,814	2,814	-155	合計(A)	1,723	2,215	2,011	2,814	2,814	-204	
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
	※給食費分に計上						延べ業務事務時間	40	40	40	40	40		
							人件費計(千円)(B)	137	134	133	133	133	-1	
	最終予算額	2,060 千円		予算執行率	97.6%		トータルコスト(A+B)	1,860	2,349	2,144	2,947	2,947	-205	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町教育研修事業費			所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊	
05700	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31	学校教育の充実			根拠法令等	鏡野町教育研修会規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・教職員の教育実践力と職務能力の向上を図るため、鏡野町教育研修部会を開催し、運営に関する事務を行う。 ・子育て支援、国語、社会、算数・数学、理科、外国語、音楽、美術・技術・家庭、保健体育、道徳・総合的な学習、特別支援、情報、養護、事務の全14部会と小学校社会科副読本の編集部会から成っている。 ・各部会のとりまとめ、日程調整、研修報告書作成、支払いなど。	鏡野町教育研修会規則制定 平成17年4月1日 教職員の教育実践力と職務能力の向上を図り、鏡野町の教育の発展に寄与することを目的とする。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 教職員	ア 教職員数	人	見込	180	180	180	180	180
			実績	175	183	173		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 教職員の資質、能力の向上を図る	ア 資質・能力が向上した教職員数	人	目標	157	164	156	180	180
			実績	175	183	173		
			達成率	111.5%	111.6%	110.9%		96.1%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 研修等の開催	ア 研修に参加した延べ人数	人	目標			173	180	180
			実績			173		
			達成率			100.0%		96.1%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 02		目 02		大事業 05		中事業 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		鏡野町教育研修事業費		鏡野町教育研修事業費		05700		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	2,452	657	774	389	389	117	一般財源	2,445	560	545	389	389	-15		
合計	2,452	657	774	389	389	117	合計(A)	2,445	560	545	389	389	-15		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						20	20	20	20	20				
	人件費計(千円)(B)						68	67	67	67	67		-1		
	最終予算額		774 千円	予算執行率		70.4%	トータルコスト(A+B)		2,513	627	612	456	456	-16	

1枚目

事業番号	05700	事務事業名	鏡野町教育研修事業費	所管課名	学校教育課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
研修や部会を行う事で学校間の連携が図れ、意識改革にも繋がる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
部会員だけでなく、他の部会の研修にも参加できるよう周知を広く行うようになっている、また研修会の日程が被らないよう、委員会で調整を行うようにした。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町内に中学校が1校しかないため、中学校の実践交流が充分にできないという声がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 教職員の研修や部会を開催することで学校間の連携や個々の意識改革が行えた。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の教育の発展を目的とすることから、部会ごとに教育に関する調査・研修、報告・発表を行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 学校間の連携が行え、より教育実践力の向上と職務遂行が図れる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 研修等行う事で個々の能力向上に繋がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 学校間の連携が図れなくなり、研鑽する機会が奪われる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 方法・手段は適正である。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 なし
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 R6年からは、鏡野町教育研修会より発行していた「鏡野の教育」の印刷製本を紙媒体ではなくデータ化し、予算削減を図る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 なし

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	研修等を行う事で教職員の意識改革に繋がる。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>部会での意見を参考にアンテナを高くはり、よりタイムリーな研修等を企画し現場で活用してもらう。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
特になし																							

事業番号	事務事業名	中学校共通経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05772	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠雄策
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	webQUアカウント使用料 いじめ、不登校、やる気、ソーシャルスキル、部活動、アクティブラーニング、 学習意欲等の項目で、児童生徒へのアンケートを実施するICTツール(アプリ)である。	これまでの紙ベースのものより、結果が即時に集計され、学校経営への早期活用が可能となるため、導入した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生徒	ア 生徒者数	人	見込 実績			321 321	306	289
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生徒の状況把握により、良好な学級運営を行う	ア WEBQUにおける学校満足度(4群)を引上げる		目標 実績 達成率			70 59 83.9%	70	70 83.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア アンケート実施	ア WEBQU(アンケート)の実施年2回		目標 実績 達成率			2 2 100.0%	2	2 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 10 教育費		03 項 10 中学校費		01 目 01 学校管理費		01 03 予算上の事業名 中学校共通経常管理費					05772 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			265	265	265	265	一般財源			265	265	265	265	
合計			265	265	265	265	合計(A)			265	265	265	265	
財源名称							従事正職員人数			1	1	1	1	
							延べ業務事務時間			5	5	5	5	
							人件費計(千円)(B)			17	17	17	17	
	最終予算額	265 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			282	282	282	282	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野中学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05780	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	所属:学校教育課分 中学校校務員の賃金等の支払い、生徒の健康診断等の実施、化学物質検査、消火設備の点検・修理、教職員の健康診断、各種負担金の支払い等 所属:中学校分 中学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成28年度学校統合と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野中学校生徒	ア 鏡野中学校生徒数	人	見込 実績	313 313	343 348	321 321	305	305
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた生徒数	人	目標 実績 達成率	313 313 100.0%	343 348 101.5%	321 313 97.5%	305	305 102.6%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		学校管理費		鏡野中学校経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財	50	50	50	50	50	その他特財	14	44	30	50	50	-14		
一般財源	8,015	35,435	24,327	23,441	23,441	-11,108	一般財源	27,098	33,393	23,161	23,441	23,441	-10,232	
合計	8,065	35,485	24,377	23,491	23,491	-11,108	合計(A)	27,112	33,437	23,191	23,491	23,491	-10,246	
財源名称	中学校施設使用料					従事正職員人数	4	3	3	3	3			
						延べ業務事務時間	200	200	200	200	200			
						人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額		24,377 千円	予算執行率	95.1%		トータルコスト(A+B)	27,796	34,109	23,858	24,158	24,158	-10,251	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野中学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05781	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・中学校既設のLPGバルクが耐用年数を超え地中に埋まっているため、地上へ設置更新を行う改修工事設計委託費及び工事費。 ・来年度の中学校特別支援学級(自閉情緒)の学級増に対応するため、普通教室にパーテーション新設工事費。ほかに照明器具撤去・天井補修・ホワイトボード設置工事費。	令和3年11月経済産業省がバルク貯蔵の検査周期の見直しがあった。それによると製造の日から20年以内に初回の検査を行い、その後5年以内の周期で2回以上行うよう法改正されたため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 中学校	ア 生徒	人	見込 実績		348 348	321 321		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた生徒数	人	目標 実績 達成率		348 348 100.0%	321 313 97.5%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	12 12 100.0%		
イ 工事に関する協議	イ 工程表進捗状況の協議を行った回数	回	目標 実績 達成率			13 13 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		学校管理費		鏡野中学校臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		675			-675	国庫支出金		673				-673		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財					#VALUE!	その他特財						#VALUE!		
一般財源	1,457	38,738			37,281	一般財源	1,439	21,100				19,661		
合計	2,132	38,738			36,606	合計(A)	2,112	21,100				18,988		
財源名称					従事正職員人数			1	1					
					延べ業務事務時間			100	100					
					人件費計(千円)(B)			336	334			-3		
	最終予算額	38,738 千円	予算執行率	54.4%		トータルコスト(A+B)		2,448	21,434			18,985		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校施設維持管理に関する経費で、必要最低限の支出である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	スクールバス経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05790	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町通学用自動車条例(条例第117号)鏡野町通学用自動		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	遠距離通学生徒が安全に登下校ができるよう、中学校スクールバス9台の運行及び維持管理に関する業務。 ・毎月の委託料の運業者への支払い、リース会社への支払い、点検・車検・ガソリン代等諸経費の支払い、年間委託契約事務、車検等の連絡及び配車調整。事故時保険対応・新年度(新入生)配車調整・スクールバス入替作業。学校行事に伴う路線外使用許可事務。	町内中学校開設時。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア スクールバス利用の中学生徒	ア 利用生徒数(実人員)	人	見込 実績	62 55	62 65	62 47	47	47
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 遠距離通学生徒に安全な登下校をしてもらう	ア 不具合等で登下校に支障があった件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	0
イ	イ 安全な登下校ができた遠距離通学生徒数	人	目標 実績 達成率	62 55 88.7%	62 65 104.8%	62 47 75.8%	47	47 100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 維持管理事務	ア 運行回数(回/年)	回	目標 実績 達成率	190 190 100.0%	190 190 100.0%	190 190 100.0%	190	190 100.0%
イ 路線外使用許可事務	イ 路線外使用許可回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 15 125.0%	12	12 125.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		学校管理費		スクールバス経常管理費					
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金		5,039				-5,039	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	52,383	50,794	53,768	52,893	52,893	2,974	一般財源	50,631	45,634	52,927	52,893	52,893	7,293	
合計	52,383	50,794	53,768	52,893	52,893	2,974	合計(A)	50,631	50,673	52,927	52,893	52,893	2,254	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200		
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5	
	最終予算額		53,768 千円	予算執行率	98.4%		トータルコスト(A+B)	51,315	51,345	53,594	53,560	53,560	2,249	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校スクールバス運営に関する経費であり、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	スクールバス臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05791	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	・中学校スクールバスのうち、車輛の老朽化と共に利用生徒が減少した路線を対象に29人乗りマイクロバスから14人乗りコミュニティに更新する業務。 ・いつまで使用していた29人乗りマイクロバスを塗装改修し、産業観光課がスキー客を搬送しない4月から11月までの期間、老朽化の激しい車輛との入替車輛として、故障車や車検時の代替車とする業務。	平成28年4月に鏡野中学校・奥津中学校・上齋原中学校・富中学校が統合し鏡野中学校が開校したため開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア スクールバス利用の中学生徒	ア 利用生徒数(実人員)		見込 実績			62 47		
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 遠距離通学生徒に安全な登下校をしてもらう	ア 不具合で登下校に支障があった件数		目標 実績 達成率			0 0 -		
イ	イ 安全な登下校ができた遠距離通学生徒数		目標 実績 達成率			62 47 75.8%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 維持管理事務	ア 運行回数(回/年)	回	目標 実績 達成率			200 200 100.0%		
イ 路線外使用許可事務	イ 路線外使用許可回数		目標 実績 達成率			12 15 125.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		学校管理費		スクールバス臨時管理費					
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	05791
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			4,930			4,930	一般財源			4,929			4,929	
合計			4,930			4,930	合計(A)			4,929			4,929	
財源名称	辺地対策事業債 8,100千円						従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			200			200	
							人件費計(千円)(B)			667			667	
	最終予算額	4,930 千円	予算執行率	99.9%	トータルコスト(A+B)					5,596			5,596	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校スクールバス車両の更新に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05821	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	実績確認・報告、予算計上	合併時(学校開設時)から開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 中学校生徒	ア 中学校生徒数	人	見込	313	325	327	313	313
			実績	313	344	321		
イ 支援を必要とする生徒	イ 支援を必要とする生徒数	人	見込	20	25	24	24	24
			実績	20	25	24		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支援の必要な児童生徒にきめ細かな指導を行う	ア きめ細かな指導を受けることができた要支援生徒数	人	目標	20	25	24	24	24
			実績	20	25	24		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 充実した授業を受けることができる	イ 充実した授業を受けることができた生徒数	人	目標	313	313	313		
			実績	313		321		
			達成率	100.0%	-	102.6%		-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 報酬の支払い	ア 報酬支払回数	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ			目標					
			実績					
			達成率					
ウ			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 02		大事業 01		中事業 02		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		教育振興費		01		02		中学校支援教員配置事業			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金	16,000	16,400	6,500			-9,900	国庫支出金	16,000	16,359	7,000			-9,359			
県支出金	1,407	1,407	735	735	735	-672	県支出金	1,299	1,185	1,022	735	735	-163			
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	26,807	24,253	31,363	44,488	44,488	7,110	一般財源	26,252	19,295	28,428	44,488	44,488	9,133			
合計	44,214	42,060	38,598	45,223	45,223	-3,462	合計(A)	43,551	36,839	36,450	45,223	45,223	-389			
財源名称	電源立地地域対策交付金						従事正職員人数		1	1	1	1	1	40		
	部活動指導員配置事業補助金						延べ業務事務時間		60	80	120	120	120	40		
							人件費計(千円)(B)		205	269	400	400	400	131		
	最終予算額		38,598 千円		予算執行率		94.4%		トータルコスト(A+B)		43,756	37,108	36,850	45,623	45,623	-258

1枚目

事業番号	05821	事務事業名	中学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
障害に応じた指導、日本語能力に課題のある児童生徒への指導、初任者研修や少人数指導のための基礎定数について改正や新設がなされた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
国や県が定める定数に加えて町費で教員を配置することで、きめ細やかな指導ができるようになってきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
一人一人の児童生徒に応じた指導を行ってほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 この事業は「確かな学力と豊かな人間性を育む」ものであり、政策体系に、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	鏡野町の児童生徒が充実した教育を受けられるようにすることは、学校設置者である町が行うべき事業である。
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	対象は町立小中学校の児童生徒であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 教員一人一人の資質を向上させることで成果を向上させることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	支援を必要とする児童生徒や、各学校が抱える課題を解消するために必要な事業である、廃止・休止することはできない。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、さらに成果を向上させることができる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 教員の資質向上、事務の効率化、ICTの効果的な導入などにより、コストの削減は可能だが、削減しすぎることにより、成果を上げられず、適切な教育を受けることができない児童生徒が生じる懸念がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	事業を実施する職員の勤務時間等は適切で削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	教員一人一人の資質を向上させることで成果を向上させることができる。 学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、さらに成果を向上させることができる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 教員の資質のさらなる向上を目指し、業務の効率化、ICT化を進める。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
支援が必要な児童生徒に適切な支援が行えるよう配慮する必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	鏡野中学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05825	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野中学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成28年度学校統合同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野中学校生徒	ア 鏡野中学校生徒数	人	見込 実績	313 313	343 348	321 321	321	
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標 実績 達成率	313 313 100.0%	343 348 101.5%	321 313 97.5%	321	
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予算に関する協議	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	
イ 支出決議書等の点検	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		教育振興費		鏡野中学校教育振興経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財	1,714	1,697				-1,697		
一般財源	7,327	7,666	8,024	7,305	7,305	358	一般財源	5,448	5,642	7,902	7,305	7,305	2,260	
合計	7,327	7,666	8,024	7,305	7,305	358	合計(A)	7,162	7,339	7,902	7,305	7,305	563	
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額	8,024 千円		予算執行率	98.4%		トータルコスト(A+B)	7,846	8,011	8,569	7,972	7,972	558	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校の教育振興に関する経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	主要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(給食費)	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05830	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠雄策
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・中学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業 ・認定、執行決裁事務	学校教育法第19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内中学校の生徒保護者	ア 要及び準要保護者数(申請者数)	人	見込 実績	39 35	39 39	35 45	35	35
イ 町内中学校の生徒保護者	イ 特別支援学級利用児童保護者数(対象者数)	人	見込 実績	10 21	25 25	21 24	21	21

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 給食費を援助し、教育費の負担を軽減する	ア 教育費が軽減された保護者数(認定者数)	人	目標 実績 達成率	44 39 88.6%	44 46 104.5%	43 53 123.3%	53	53 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、審査、認定事務	ア 受付、審査、認定回数	回	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 16 228.6%	15 18 120.0%	9	9 200.0%
イ 扶助費の執行事務	イ 扶助費の執行回数	回	目標 実績 達成率	8 7 87.5%	8 20 250.0%	20 5 25.0%	5	5 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		教育振興費		03 01 準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(給食費)					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金	110	110	465	427	427	355	国庫支出金	212	158	223	427	427	65	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	2,541	2,128	3,374	1,900	1,900	1,246	一般財源	1,620	1,868	2,445	1,900	1,900	577	
合計	2,651	2,238	3,839	2,327	2,327	1,601	合計(A)	1,832	2,026	2,668	2,327	2,327	642	
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	40	40	40	40	40		
							人件費計(千円)(B)	137	134	133	133	133	-1	
	最終予算額	3,839 千円		予算執行率	69.4%		トータルコスト(A+B)	1,969	2,160	2,801	2,460	2,460	641	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(学用品費)	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05831	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠雄策
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・中学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業 ・同基準により、新入学予定者の保護者に、入学に係る学用品費を援助する事業 ・認定、執行決済事務	学校教育法第19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	中学校の要及び準要保護者	→	ア	人	見込	39	39	35	35	35
					実績	48	50	55		
イ	中学校の特別支援学級の保護者	→	イ	人	見込	10	25	21	21	21
					実績	21	25	24		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	学用品費を援助し、教育費の負担を軽減する	→	ア	人	目標	44	44	43	43	43
					実績	51	56	62		
					達成率	115.9%	127.3%	144.2%		144.2%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	申請受付、審査、認定事務	→	ア	回	目標	7	7	15	15	15
					実績	7	16	18		
					達成率	100.0%	228.6%	120.0%		120.0%
イ	扶助費の執行事務	→	イ	回	目標	8	8	20	20	20
					実績	6	6	6		
					達成率	75.0%	75.0%	30.0%		30.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		中学校費		教育振興費		要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費(学用品費)						
									03	02					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金		110		479	479	-110	国庫支出金				479	479			
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	3,726	2,828	4,244	2,796	2,796	1,416	一般財源	1,828	1,801	3,206	2,796	2,796	1,405		
合計	3,726	2,938	4,244	3,275	3,275	1,306	合計(A)	1,828	1,801	3,206	3,275	3,275	1,405		
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	※給食費分に計上						延べ業務事務時間	40	40	40	40	40			
							人件費計(千円)(B)	137	134	133	133	133	-1		
	最終予算額		4,244 千円		予算執行率		75.5%		トータルコスト(A+B)		1,965	1,935	3,339	3,408	3,408

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	外国青年招致事業費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
05835	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	中学校学習指導要領		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	委託業者との契約締結、実績の確認、委託料の支払い	合併により新町が発足したときから行っている事業である。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 中学校生徒	ア 中学校生徒数	人	見込 実績	313 313	319 344	321 321	321	321
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 英語に親しみ、英語力を向上させる	ア 英語に親しみ、英語力を向上させることができた生徒数	人	目標 実績 達成率	313 313 100.0%	319 344 107.8%	321 313 97.5%	321	321 97.5%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託料の支払い	ア 委託料支払い回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 03		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		中学校費		教育振興費		外国青年招致事業費						
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	5,390	5,880	5,390	5,390	-490	一般財源	5,390	5,390	5,390	5,390	5,390				
合計	5,390	5,880	5,390	5,390	-490	合計(A)	5,390	5,390	5,390	5,390	5,390	0			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						15	20	20	20	20				
	人件費計(千円)(B)						51	67	67	67	67	-1			
	最終予算額		5,390 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		5,441	5,457	5,457	5,457	5,457

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校のALTの経費で、適切な予算執行である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野学校給食共同調理場経常管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
06655	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	押阪 裕
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町学校給食共同調理場設置条例鏡野町学校給食共同調理場		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①調理場の施設管理を行う。 ②修繕等があれば、見積もりを徴収する。 ③業者に発注、支払をする。 ④給食費の徴収 ⑤給食物資の支払 ※調理等業務委託に関する調整、契約等	昭和50年4月、鏡野町学校給食共同調理場として開設、旧鏡野町内の小中学校10校に配食。平成10年6月、改築により現建屋において小学校5校中学校1校に配食。平成21年4月、調理場の統合により幼稚園1園、小学校8校、中学校4校に配食を始める。平成28年4月中学校統合により、中学校1校となった。給

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	児童生徒	→	ア	人	見込	977	964	971	970	970
					実績	964	971	941		
イ	教職員	→	イ	人	見込	175	178	170	170	170
					実績	178	170	161		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	安全で美味しい給食を提供する	→	ア	人	目標	977	964	971	971	971
					実績	964	971	941		
					達成率	98.7%	100.7%	96.9%		96.9%
イ		→	イ	人	目標	175	178	170	170	170
					実績	178	170	161		
					達成率	101.7%	95.5%	94.7%		94.7%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	給食を提供する。	→	ア	食	目標	208,000	210,000	204,000	204,000	204,000
					実績	210,032	203,883	200,543		
					達成率	101.0%	97.1%	98.3%		98.3%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		学校給食共同調理場費		鏡野学校給食共同調理場経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		5,361			-5,361	国庫支出金		5,079				-5,079		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	65,739	66,061	64,513	64,484	64,484	-1,548	その他特財	60,696	59,160	58,990	64,484	64,484	-170	
一般財源	81,702	87,051	90,955	90,790	90,790	3,904	一般財源	83,469	86,456	92,344	90,790	90,790	5,888	
合計	147,441	158,473	155,468	155,274	155,274	-3,005	合計(A)	144,165	150,695	151,334	155,274	155,274	639	
財源名称	学校給食材料費負担金					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800			
						人件費計(千円)(B)	6,158	6,052	6,003	6,003	6,003	-49		
	最終予算額		155,468 千円	予算執行率	97.3%	トータルコスト(A+B)	150,323	156,747	157,337	161,277	161,277	590		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校給食に関する食材費や給食業務委託料等の経費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野学校給食共同調理場臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和 5 年度課長名	黒瀬 豊
06656	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	押阪 裕
	施策名	31 学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町学校給食共同調理場設置条例鏡野町学校給食共同調理場		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	システム食缶洗浄機のオーバーホール及びステンレス角型二重食缶の購入。	システム食缶洗浄機が経年劣化により不具合が生じているためオーバーホールを行う。また、鶴喜小学校改修工事によりランチルームの使用ができず教室での給食となるため、食缶の追加が必要となり購入をするもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 児童生徒	ア 児童生徒数	人	見込	977	964	971		
			実績	964	971	941		
イ 教職員	イ 教職員数	人	見込	175	178	170		
			実績	178	170	161		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安全で美味しい給食を提供する	ア 安全で美味しい給食を提供された児童生徒数	人	目標	977	964	971		
			実績	964	971	941		
			達成率	98.7%	100.7%	96.9%		
イ	イ 安全で美味しい給食を提供された教職員数	人	目標	175	178	170		
			実績	178	170	161		
			達成率	101.7%	95.5%	94.7%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 給食を提供する	ア 給食数	食	目標	208,000	210,000	204,000		
			実績	210,032	203,883	200,543		
			達成率	101.0%	97.1%	98.3%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		学校給食共同調理場費		鏡野学校給食共同調理場臨時管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金	15,380				-15,380	国庫支出金		14,988				-14,988		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,120	22,312			21,192	一般財源	1,501	22,227				20,726		
合計	16,500	22,312			5,812	合計(A)	16,489	22,227				5,738		
財源名称						従事正職員人数		1	1					
						延べ業務事務時間		60	65			5		
						人件費計(千円)(B)		202	217			15		
	最終予算額	22,312 千円	予算執行率	99.6%		トータルコスト(A+B)		16,691	22,444			5,753		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	システム食缶洗浄機オーバーホール及びステンレス角型二重食缶の購入が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	